

## 9 化学物質環境実態調査結果

### 【平成30年度調査結果】

#### (1) 初期環境調査

##### ① 水質 (単位: ng/L)

物質名	犀川河口 (金沢市)	検出下限値
1 o-アセトキシ安息香酸(別名:アスピリン)	nd	19
2 2-エトキシ-1-[2'-(5-オキシ-4,5-ジヒドロ-1,2,4-オキサジアゾール-3-イル)ピフェニル-4-イル]メチル]-1H-ベンゾイミダゾール-7-カルボン酸 (別名:アジルサルタン)	0.25	0.037
3 サリチル酸及びその塩類(サリチル酸ナトリウムとして)	62	50
4 安息香酸	130	18
5 ベンゾ[a]ピレン	nd	0.086

##### ② 底質 (単位: ng/g-dry)

物質名	犀川河口 (金沢市)			検出下限値
1 ベンゾ[a]ピレン	68	8.2	2.7	0.19

##### ③ 大気 (単位: ng/m<sup>3</sup>)

物質名	県保健環境センター (金沢市)			検出下限値
	検体1	検体2	検体3	
1 o-アニジジン	nd	nd	nd	1.6
2 2-ナフチルアミン	nd	nd	nd	0.85
3 2-メトキシ-5-メチルアニリン	nd	nd	nd	1.4

#### (2) 詳細環境調査

##### ① 水質 (単位: ng/L)

物質名	犀川河口 (金沢市)	検出下限値
1 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル(別名:エトフェンプロックス)	nd	2.2
2 N,N-ジメチルホルムアミド	10	6.2
3 中鎖塩素化パラフィン類(アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	nd	※※20
4 3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名:ペルメトリン)	nd	0.31

##### ② 底質 (単位: ng/g-dry)

物質名	県保健環境センター (金沢市)			検出下限値
	検体1	検体2	検体3	
1 アルキルベンゼンスルホン酸(アルキル基は直鎖状で炭素数が10から14までのもの。)&及びその塩類 (別名:LAS(アルキル基の炭素数が10から14までのもの。)&及びその塩類)	nd	nd	nd	※※120
2 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル(別名:エトフェンプロックス)	2.0	2.1	---	0.14
3 中鎖塩素化パラフィン類(アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	40	40	nd	※※27
4 ヒドラジン	---	---	---	0.0096

#### 【記号の説明】

nd: 不検出

---: 欠測等(「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体)

※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)

(3) モニタリング調査

① 水質 (単位: pg/L)

物質名	犀川河口 (金沢市)	検出下限値
1 PCB類 (総量)	1,000	※14
2 HCB (ヘキサクロロベンゼン)	60	1.5
3 トキサフェン類	nd	※50
4 マイレックス	nd	0.7
5 ポリプロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	310	※53
6 ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	3,100	70
7 ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	28,000	70
8 ペンタクロロベンゼン	18	1.3
9 エンドスルファン類	nd	※150
10 総ポリ塩化ナフタレン	63	※35
11 ペンタクロロフェノールとその塩およびエステル類	1,300	※40
12 短鎖塩素化パラフィン類	nd	※10,000
13 ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	2,600	120

② 底質 (単位: pg/g-dry)

物質名	犀川河口 (金沢市)	検出下限値
1 PCB類 (総量)	4,800	※170
2 HCB (ヘキサクロロベンゼン)	73	1.3
3 アルドリン	7.6	1.6
4 デイルドリン	51	1.6
5 トキサフェン類	nd	※70
6 マイレックス	tr(0.5)	0.8
7 ポリプロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	58,000	※87
8 ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	22	7
9 ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	19	9
10 ペンタクロロベンゼン	77	0.9
11 エンドスルファン類	nd	※5
12 総ポリ塩化ナフタレン	86	3
13 ペンタクロロフェノールとその塩およびエステル類	94	※45
14 短鎖塩素化パラフィン類	nd	※36,000
15 ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	nd	11

③ 生物 (単位: pg/g-wet)

物質名	能登半島沿岸 ムラサキイガイ	検出下限値
1 PCB類 (総量)	740	※63
2 HCB (ヘキサクロロベンゼン)	28	3.3
3 DDT類	220	※16
4 トキサフェン類	nd	※140
5 マイレックス	3.2	1.4
6 ポリプロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	nd	※360
7 ペンタクロロベンゼン	tr(13)	15
8 1,2,5,6,9,10-ヘキサプロモシクロドデカン類	310	※66
9 総ポリ塩化ナフタレン	tr(13)	※36
10 ペンタクロロフェノールとその塩およびエステル類	tr(10)	※40
11 短鎖塩素化パラフィン類	nd	※5,900
12 ジコホル	30	30

④ 大気 (単位: pg/m<sup>3</sup>)

物質名	県保健環境センター (金沢市)	検出下限値
	温暖期	
1 PCB類 (総量)	57	※2.4
2 HCB (ヘキサクロロベンゼン)	97	0.4
3 DDT類	2.7	※0.28
4 トキサフェン類	nd	※1.3
5 マイレックス	0.09	0.03
6 ポリプロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	nd	※3.1
7 ペンタクロロベンゼン	63	0.1
8 総ポリ塩化ナフタレン	20	※0.5
9 ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	22	※1.6
10 ペンタクロロフェノールとその塩およびエステル類	2,300	20
11 短鎖塩素化パラフィン類	690	※550

[記号の説明]

nd: 不検出

tr: 検出下限以上定量下限未満

※: 同族体ごとの検出下限値の合計値

※※: アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。